

「森と湖の国」と言われる自然豊かなフィンランド。人々は白夜や極夜といったこの土地特有の四季と共に日々の暮らしを送ってきました。

フィンランドのデザイナーたちもまた、「自然と人間との調和」を大切に、永く愛され日常的に使われ続けるデザイン製品を生み出してきました。シンプルながらも機能的で、しかも遊び心も備えたこれらのデザインは、時代が変わっても廃れることなく、技術の進歩や社会の動向に合わせてしなやかにその姿を変えます。そして、未来へとつながる新しいデザインが新世代のデザイナーたちによって生み出され続けているのです。

本展では、1917年のフィンランド独立以前から現在にいたる約100年間のフィンランド・デザインの全貌をご紹介します。フィンランドを代表するデザイナー達が手がけた家具、食器、テキスタイルを通じて、フィンランド・デザインの豊かさをどうぞお楽しみください。



Walter Thomé, Karl Lindahl
ワルター・トームズ、カール・リンダール
椅子 / 1903-1904年
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵
© Designmuseo Photo:Chikako Harada



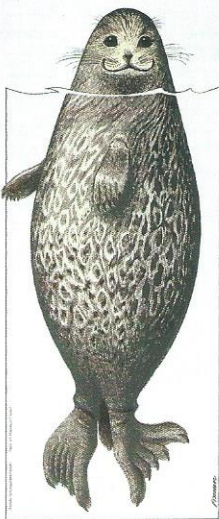
Heikki Orvola, Helorinne & Kallio
テーブルウェア《24h トゥオキオ》シリーズ
フォルム:ヘイッキ・オルボラ / 1996年
パターン:ヘロリンネ&カリリオ / 2011年/アラビア
© FISKARS



Kaj Franck カイ・フランク
テーブルウェア《キルタ》シリーズ / 1953年/アラビア
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵
© Designmuseo



Timo Sarpaneva ティモ・サルパネヴァ
キャンドルホルダー《フェスティバ》 / 1966年/イッタラ
© FISKARS



Erik Bruun エーリック・ブルーン
ポスター《サイマワモンアザラシ》
(自然保護協会のポスター) / 1974年
作家蔵 © Erik Bruun



Akseli Gallen-Kallela
アクセリ・ガレン=カレラ
ルイユ織ラグ《レイッキ(炎)》 / 1899年
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵
© Designmuseo

Oiva Toikka オイバ・トイッカ
オブジェ《バード》/イッタラ
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵
© Designmuseo Photo:Chikako Harada



記念講演会
「自然に学ぶデザイナーたちの暮らし」

講師 森下圭子(ムーミン研究家)
日時 2017年5月13日(土) 13:30-15:00
会場 アートスペースA
(愛知芸術文化センター 12階)
定員 先着150名 ※申込不要・聴講無料。

ギャラリー・トーク(学芸員による展示説明会)

2017年5月13日(土)、5月14日(日)、
5月20日(土) 各回 11:00-11:40
5月19日(金) 18:30-19:10
※申込不要・聴講無料。観覧券をお持ちの上、
開始時刻に美術館ロビーにお集まりください。

観覧料

一般1,200(1,000)円 / 高校・大学生900(700)円 /
中学生以下無料

※()内は前売券および20名以上の団体料金です。
※上記料金で、同時開催のコレクション展およびAPMoA Project, ARCHもご覧いただけます。
※小・中学生は美術館チケット売場で無料観覧券をお受け取りください。
※「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」のいずれかをお持ちの方、また、その手帳に「第1種」または「1級」と記載のある方に付き添われる方は1名まで当日料金が半額となります。美術館チケット売場にてお問い合わせください。
※前売券(および当日券)は、愛知県美術館チケット売場、主要プレイガイド、チケットぴあ(Pコード:768-061)、ローソンチケット(Lコード:42179)、主要コンビニエンスストア、中日新聞販売店などでお求めいただけます。

前売券販売期間:2月13日(月)~4月6日(木)



地下鉄東山線・名城線「栄」駅/名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、オアシス21連絡通路利用徒歩3分

愛知県美術館 [愛知芸術文化センター 10階]
AICHI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒461-8525 名古屋市長区東桜1-13-2 TEL 052-971-5511(代) FAX 052-971-5604
美術館ウェブサイト <http://www.art.aac.pref.aichi.jp/>

展示会特設サイト <http://finnish-design2017.exhn.jp/>